デュルバルマブ療法を受けられる患者様へ

デュルバルマブ療法について

デュルバルマブ（商品名;イミフィンジ）とは、
がん細胞が自分を守るためにかけている免疫機能の
ブレーキをはずして、がん細胞への攻撃力を高める薬です。
分子標的薬と呼ばれる薬の一つです。

投与スケジュール 今日（　/　）は　サイクル　日目

１日目にデュルバルマブを投与します。
後の13日間を休みとし、14日間を一区切り(１コース)とします。

ここに示したスケジュールは参考であり、
患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部
川崎市中原区小杉町1-396　☎(044)733-5181

点滴で投与する薬について

デュルバルマブ （　　mg）	抗腫瘍薬です。 60分かけて投与します。
↓	
生理食塩液	お薬を洗い流します。 5分かけて投与します。

副作用について

点滴による反応	点滴中や投与後24時間以内に、発熱や寒気などが現れる場合があります。 初回に現れることが多いです。 熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。
皮膚障害	皮疹・発赤・かゆみなどの症状が現れたら、すぐにお伝えください。
甲状腺機能障害	疲労感・体重の変化・脱毛・悪寒などの症状が現れることがあります。 定期的に検査をします。
糖尿病	糖尿病を発症することがあります。
大腸炎	下痢・腹痛・血便などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。
間質性肺炎	発熱、呼吸がしにくい、息切れなどの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

その他にも気になる症状がありましたら、
お気軽に医療スタッフまでご相談ください。